

令和2年7月21日

保護者 各位

那覇市立神原中学校
校長 馬上 晃
(公印省略)

水難事故防止の強化について(依頼)

平素より、本校の学校教育に対してご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

先日、6月23日にうるま市において、中学1年生が橋から海へ飛び込み、心肺停止で搬送され、死亡する事故が発生いたしました。

那覇市においても、波之上ビーチ近くの海岸、または港湾施設等遊泳禁止となっている場所において、小中高生による飛び込みや遊泳等危険行為の情報が多数あります。

本校では、これまでも水難事故防止を含めた事故防止に向け、全職員共通理解のもと、組織的に取り組んでいるところです。今回の事故を受け、下記の点につき改めてご家庭でも水難事故防止についての共通理解を図り、生徒の安全確保ができるよう指導の徹底をお願いします。

記

1 水難事故防止に係わる確認事項

- (1) 子供達だけで魚釣り、魚介とり、マリンレジャーは行わない。必ず大人と一緒に行きましょう。
- (2) 海水浴等は、監視員や救助員の配置されているビーチで行いましょう。
- (3) 体調不良の時は海や河川に入らないようにしましょう。
- (4) 魚釣り、魚介とり、シュノーケリングについては、必ずライフジャケットを着用しましょう。
- (5) 保護者は常に監視しましょう。

(保護者の皆さん、「誰かが監視してくれるだろう」、「ちょっとの間だけ」は禁物です。遊泳中は絶対に目離さないで下さい。)

2 子供達の水難事故の特徴

- ・年齢とともに遠方へ、保護者不在へ
- ・身近な川→漁港→海浜へ
- ・単独→兄弟とともに → 友達同士へ

幼児の特徴・・・単独または兄弟と行動中、身近な川・池に転落する。

小学生の特徴・・・兄弟とまた友達と川遊び中、深みにはまり溺水

中学生の特徴・・・漁港内で友達と釣りや遊泳中に溺水

高校生の特徴・・・友達同士で管理者のいない海岸で沖に流される。

※沖縄県水難事故防止推進協議会資料より抜粋

伊奈

海上保安庁

▶海のもしもは118番



携帯電話やスマートフォンで
連絡手段を確保しよう

▶連絡手段の確保



ライフジャケットなどが有効的です

▶浮力の確保

❗ 自己救命策を確保しよう

ライフ近くで遊泳中、沖合に流され
その後、発見されたが死亡が確認された。

【事故事例】

する可能性があります。

岩と岩の切れ目は沖へ向かう速い流れが発生

❗ ラーフ波（引き波）に注意しよう

友人と橋から飛び込む遊びをしていたところ、潮流により漂流し
その後救助された。2人は打撲による怪我を負った。

【事故事例】

時には速い流れが発生する箇所もあります。
波が高い日や、風が強い日も海には近づかないようにしましょう。

『度胸試し』で防波堤や橋から飛び込むことは大変危険です。

❗ 危ない行為はやめよう

【生徒、保護者の皆様へ】
海でのレジャー事故に注意しよう